

国立がん研究センターがん対策情報センター がん登録センター便り

松田 智大 名畑 里香 円山 紗矢 西川 由美

国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター 全国がん登録室

がん登録推進法に基づき、全国がん登録が開始されました。がん統計研究部は「がん登録センター」と名前を改め、全国がん登録及び院内がん登録に関する厚生労働省からの委託業務及び都道府県や病院等の支援を実施しています。がん登録センターには、全国がん登録室、全国がん登録分析室、院内がん登録室、がん登録統計室、がん登録管理室の5室が設置されました。正確で役に立つがんの統計情報を収集・整備することを使命(Mission)とし、①がん診療連携拠点病院等において実施される院内がん登録を標準化する。また、各都道府県で実施されている地域がん登録を発展させ、国としての全国がん登録を主体的に実施する。登録実務者の育成・研修を実施して、標準化された情報の収集・集計を行い、正確ながん統計を整備する。②がんの罹患・死亡およびがん診療に関わる情報の収集と分析を多角的に行い、活用できる形で提供する。また、これらの基盤となる国際疾病分類等の整備に貢献する。の二つを活動の軸と考えています。

全国がん登録室では、情報の収集、記録、保存に関する事業を実施し、都道府県及び国立がん研究センターにおいて事業に関わる人材の養成にも努めていきます。業務の増大に合わせて、職員数を徐々に増員していく予定です。

1 | がん登録の標準化と全国がん登録への移行

地域がん登録標準DBSは2016年1月現在、42地域で稼働しています。独自システム利用地域を含め、45地域では、国がんの提供する都道府県がんデータベースシステムを利用して、全国がん登録と地域がん登録データとの関係が計画されています。14地域では、年内にデータ移行を完了し、都道府県がんDBSでの地域がん登録の継続、全国がん登録システムでの作業が開始されています。

2 | 全国がん罹患モニタリング集計(2012)の実施

がん政策研究事業研究班活動として、全国がん罹患モニタリング集計(MCIJ2012)集計作業をしています。今回の注目点は、①参考データを含め47都道府県全てのがん罹患数を、推計ではなく、合計によって集計すること、②20県程度のデータを用いて2006~8年症例の生存率集計を行うこと、です。例年通り年度末までに報告書を刊行することを目標に作業を進めています。

特定非営利活動法人 地域がん登録全国協議会

JACR事務局だより

特定非営利活動法人 地域がん登録全国協議会事務局

太田 樹里

1 | 会員の入会について

平成27年7月以降に新たにご加入されました賛助会員をご紹介します。賛助会員には、日本IBM株式会社様、武田薬品工業株式会社様、個人会員1名様にご加入いただきました。今後も、皆様からの御賛助によってがん登録事業の必要性和御理解を深めていただけるよう、今後も活動して参ります。

新規ご加入の賛助会員様

IBM

武田薬品工業

他個人会員 1名様

2 | 刊行物の販売について

定期刊行誌のMonograph No.20とNo.21(定価¥2,500(税抜))を販売しております。その他、冊子販売も行っております。ご購入を希望される場合は、協議会あてにE-mailもしくはFAXにてご連絡ください。



定期刊行誌
Monograph No.19
定価¥2,300(税抜)
2013年発行



最新刊
定期刊行誌
Monograph No.20
定価¥2,500(税抜)
2014年発行